

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 原田工業株式会社  
コード番号 6904 URL <http://www.harada.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長 (氏名) 佐々木 徹

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

TEL 03-3765-4321

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	21,196	6.8	△140	—	△303	—	△465	—
27年3月期第2四半期	19,842	13.1	724	10.7	795	12.3	444	30.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △220百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △294百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△21.41	—
27年3月期第2四半期	20.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
28年3月期第2四半期	34,283		13,162		38.4		605.11	
27年3月期	34,060		13,545		39.8		622.74	

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 13,162百万円 27年3月期 13,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
28年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	5.6	350	△59.6	50	△94.9	20	△94.2	0.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	21,758,000 株	27年3月期	21,758,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	6,545 株	27年3月期	5,984 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	21,751,691 株	27年3月期2Q	21,752,566 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結貸借対照表関係注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用、所得環境の改善を背景とした景気の拡大基調が続いており、欧州においても雇用、所得環境の改善を背景とした個人消費の堅調な拡大により、緩やかな回復が続いております。アジアにおいては、中国では個人消費や輸出・輸入の伸びが鈍化しており、景気は緩やかに減速しております。また、アセアン地域においては総じて足踏み状態となっております。先行きにつきましては、アセアン地域を含むアジア新興国等において弱さが見られるものの総じて緩やかな回復が期待されます。

日本国内経済につきましては、企業収益や雇用情勢の改善を背景とした底堅い個人消費等により、緩やかな回復基調が続いております。先行きにつきましては、雇用、所得環境の改善等により緩やかな回復が期待されますが、中国やアジア新興国の経済の減速等による影響も懸念されます。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が日本、アセアン地域では減産と、中国、欧州、北米では増産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ微増となりました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適な企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、一部地域での低迷はありましたが、拡販活動や為替の影響等により211億96百万円（前年同期比6.8%増）となりました。利益面につきましては、中長期的なグループ全体のコスト改善を実現するために生産バランスの最適化を目指し、主としてアジア地域の製造子会社間で実施している生産移管に伴い一時的に物流経費及び生産の安定化に向けた費用の発生による売上原価率の上昇により営業損失は1億40百万円（前年同期は営業利益7億24百万円）、経常損失は生産移管に伴う人員の適正化を実施したことにより支払補償費を計上したこともあり3億3百万円（前年同期は経常利益7億95百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億65百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億44百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①日本

輸出の減少、自動車生産台数の減少により、外部売上高は59億28百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント間の内部売上高は21億78百万円（同9.6%増）、営業利益は売上高の減少はあったものの、売上原価率及び販管比率の改善により4億63百万円（同41.4%増）となりました。

## ②アジア

アジア市場は自動車生産台数の増加に反し低迷をいたしましたが、為替の影響等により、外部売上高は54億49百万円（同4.1%増）、セグメント間の内部売上高は67億28百万円（同2.7%減）、営業損失はアジア地域の製造子会社間で実施している生産移管に伴い一時的に物流経費及び生産の安定化に向けた費用の発生による売上原価率の上昇により6億97百万円（前年同期は営業利益1億65百万円）となりました。

## ③北中米

米国及びメキシコの市場回復傾向及び為替の影響等により、外部売上高は74億91百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント間の内部売上高は46百万円（同11.3%減）、営業利益は1億87百万円（同10.7%減）となりました。

## ④欧州

欧州市場での拡販活動及び為替の影響等により、外部売上高は23億26百万円（同18.9%増）、セグメント間の内部売上高は6百万円（同69.3%減）、営業損失は1億10百万円（前年同期は営業損失59百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、262億43百万円（前連結会計年度末266億12百万円）となり、3億69百万円減少いたしました。

主に、「受取手形及び売掛金」が6億92百万円増加し、「現金及び預金」が3億95百万円、「原材料及び貯蔵品」が3億52百万円減少いたしました。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、80億39百万円（前連結会計年度末74億47百万円）となり、5億92百万円増加いたしました。

主に、「有形固定資産」が4億80百万円増加いたしました。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、163億7百万円（前連結会計年度末163億28百万円）となり、20百万円減少いたしました。

主に、「支払手形及び買掛金」が8億1百万円増加し、「短期借入金」が7億65百万円減少いたしました。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、48億13百万円（前連結会計年度末41億85百万円）となり、6億27百万円増加いたしました。

主に、「長期借入金」が6億37百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、131億62百万円（前連結会計年度末135億45百万円）となり、3億83百万円減少いたしました。

主に、「為替換算調整勘定」が2億46百万円増加し、「利益剰余金」が6億28百万円減少いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3億93百万円減少し、54億96百万円（前連結会計年度末比6.7%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「売上債権の増加額」5億62百万円、「税金等調整前四半期純損失」3億6百万円等の減少要因がありましたが、「仕入債務の増加額」6億30百万円、「減価償却費」4億99百万円、「たな卸資産の減少額」3億44百万円、「法人税等の還付額」2億66百万円等の増加要因により、9億60百万円の収入（前年同期は10億52百万円の支出）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の取得による支出」8億92百万円等の減少要因により、9億96百万円の支出（前年同期は93百万円の収入）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入れによる収入」93億10百万円、「長期借入れによる収入」10億円等の増加要因がありましたが、「短期借入金の返済による支出」101億41百万円等の減少要因により、3億64百万円の支出（前年同期は18億29百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表の「平成28年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」において平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異を開示しております。また、平成28年3月期通期連結業績予想値につきましても修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,920,721	5,525,445
受取手形及び売掛金	7,880,549	8,573,395
商品及び製品	5,475,904	5,573,803
仕掛品	595,250	654,923
原材料及び貯蔵品	4,617,616	4,264,953
その他	2,139,816	1,667,660
貸倒引当金	△17,004	△16,891
流動資産合計	26,612,854	26,243,292
固定資産		
有形固定資産	5,042,784	5,523,606
無形固定資産	404,489	430,817
投資その他の資産		
その他	2,002,357	2,087,959
貸倒引当金	△2,405	△2,405
投資その他の資産合計	1,999,951	2,085,554
固定資産合計	7,447,226	8,039,978
資産合計	34,060,080	34,283,270
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,103,778	4,905,678
短期借入金	9,501,375	8,735,682
1年内返済予定の長期借入金	725,000	725,000
賞与引当金	289,503	317,534
役員賞与引当金	30,800	13,050
その他	1,678,051	1,610,573
流動負債合計	16,328,508	16,307,518
固定負債		
長期借入金	3,562,500	4,200,000
退職給付に係る負債	241,799	219,880
その他	381,477	393,843
固定負債合計	4,185,777	4,813,723
負債合計	20,514,285	21,121,242
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	8,722,272	8,093,369
自己株式	△2,007	△2,164
株主資本合計	12,599,427	11,970,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,259	36,821
為替換算調整勘定	972,407	1,218,962
退職給付に係る調整累計額	△63,300	△64,123
その他の包括利益累計額合計	946,366	1,191,659
純資産合計	13,545,794	13,162,027
負債純資産合計	34,060,080	34,283,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,842,604	21,196,091
売上原価	15,159,166	16,946,356
売上総利益	4,683,438	4,249,734
販売費及び一般管理費	3,958,763	4,389,808
営業利益又は営業損失(△)	724,674	△140,074
営業外収益		
作業くず売却益	16,457	15,612
受取保険料	39	20,543
為替差益	68,208	—
保険解約返戻金	39,391	—
その他	37,099	33,850
営業外収益合計	161,197	70,005
営業外費用		
支払利息	75,753	71,240
支払補償費	—	105,331
為替差損	—	50,788
その他	14,859	6,198
営業外費用合計	90,613	233,559
経常利益又は経常損失(△)	795,259	△303,628
特別利益		
固定資産売却益	4,231	4,308
その他	44	—
特別利益合計	4,275	4,308
特別損失		
減損損失	7,938	2,345
固定資産除却損	675	5,009
その他	2,980	179
特別損失合計	11,594	7,534
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	787,940	△306,855
法人税、住民税及び事業税	68,427	142,444
法人税等調整額	274,660	16,462
法人税等合計	343,087	158,907
四半期純利益又は四半期純損失(△)	444,853	△465,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	444,853	△465,762

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	444,853	△465,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,378	△437
為替換算調整勘定	△755,715	246,554
退職給付に係る調整額	1,928	△823
その他の包括利益合計	△739,408	245,293
四半期包括利益	△294,555	△220,468
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△294,555	△220,468
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	787,940	△306,855
減価償却費	410,785	499,144
支払利息	75,753	71,240
為替差損益(△は益)	△111,562	92,165
売上債権の増減額(△は増加)	△787,646	△562,816
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,252	344,544
仕入債務の増減額(△は減少)	△303,844	630,754
支払補償費	—	105,331
その他	△529,609	150,228
小計	△440,931	1,023,738
法人税等の支払額	△556,087	△149,441
利息の支払額	△65,132	△91,127
法人税等の還付額	—	266,843
支払補償費の支払額	—	△105,331
その他の収入	9,359	16,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,052,791	960,692
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△457,403	△892,257
無形固定資産の取得による支出	△10,314	△72,246
保険積立金の解約による収入	205,720	—
その他	355,885	△31,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	93,887	△996,076
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	11,415,845	9,310,219
短期借入金の返済による支出	△9,770,250	△10,141,084
長期借入れによる収入	2,700,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,290,000	△362,500
配当金の支払額	△216,697	△162,109
その他	△9,768	△8,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,829,128	△364,082
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154,871	5,785
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	715,353	△393,680
現金及び現金同等物の期首残高	6,019,549	5,889,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,734,902	5,496,278

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表関係注記）

偶発債務（訴訟関係）

当社グループと取引のある保定長城汽車股份有限公司（以下、「長城汽車」という。）は、中国に本社のある泰州蘇中天線集団公司（以下、「蘇中天線」という。）より、長城汽車のシャークフィンアンテナが蘇中天線の所有する特許を侵害しているとして、当該特許技術を利用した製品の製造、販売に関する行為の差し止め等及び損害賠償（6,000万人民元）を請求する訴訟を南京裁判所に提起されております。

当社の連結子会社である上海原田新汽車天線有限公司（以下、「上海原田」という。）は、当該製品の一部を、平成25年5月14日より長城汽車に対して製造・販売しております。これにより、平成27年6月26日付で、上海原田は、長城汽車との間に締結している取引基本契約による紛争解決義務に基づき、長城汽車とともに当該訴訟の共同被告になっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,072,306	5,234,164	6,579,293	1,956,840	19,842,604	—	19,842,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,987,794	6,917,232	52,065	21,448	8,978,541	△8,978,541	—
計	8,060,101	12,151,396	6,631,359	1,978,288	28,821,146	△8,978,541	19,842,604
セグメント利益又は損失(△)	327,957	165,470	210,464	△59,892	644,000	80,674	724,674

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額80,674千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「アジア」のセグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」5,763千円、「アジア」2,175千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,928,432	5,449,544	7,491,527	2,326,585	21,196,091	—	21,196,091
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,178,556	6,728,765	46,199	6,586	8,960,107	△8,960,107	—
計	8,106,989	12,178,310	7,537,727	2,333,171	30,156,198	△8,960,107	21,196,091
セグメント利益又は損失(△)	463,688	△697,836	187,932	△110,559	△156,775	16,700	△140,074

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額16,700千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「アジア」のセグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」2,123千円、「アジア」221千円であります。